

06かまくら国際交流フェスティバル

会員 水谷妙子



人気が集めたフランクフルト。すぐ売り切れ

11月12日(日)今年も「かまくら国際交流フェスティバル」に参加しました。このフェスティバルは鎌倉市内を中心に国際交流や国際協力を行っている団体(24団体のうち今年は17団体が参加)が年に1回協力して行っているイベントで、今年で第12回を迎えました。長谷の大仏様の下、箏曲演奏・空手演舞・バリ舞踊・和太鼓演奏が行われる中、会長はじめボランティアの方々が、会報「Der Wind」とドイツ観光協会のパンフレットを配布し、ドイツ語講座・混声合唱団「アムゼル」をPRしました。

ところが、ホットドッグとフランクフルトソーセージは、ヴァイマルから研修の為来日、我が家にホームステイ中のカロリンさんや娘達が手伝いに来たときには早々と売切れてしまっていてガッカリ！しかし、副会長が素早く画伯に変身！？似顔絵描きの店開き。お代は？皆様大喜びで「湘南日独協会日独文化交流基金(仮称)箱」に入れて下さいました。この日の純益は基金箱の寄付金と共に日独文化交流資金として役立てる予定です。朝早くからお手伝いして下さいの中川さん、林さん、高遠さん、半澤さん、御来場御協力頂いた会員の方々が難うございました。

湘南日独協会 2007 年度活動予定

■ 2月24日(土) 18:00～20:00

会員懇話会

会場 湘南アカデミアサロン

会費

■ 3月25日(日) 13:30～15:30

第48回例会 講演会

演題 「柿右衛門とマイセン陶磁器」

講師 松村真希子氏(陶磁器研究家)

会場 湘南アカデミアサロン

会費 会員 2,000円 一般 2,500円

■ 5月27日(日) 13:30～15:30

第48回例会 講演会

演題 「ドイツ リニアモーターカーの実状」

講師 西川忠壬氏(元ケー・ブラッシュ商会顧問)

会場 湘南アカデミアサロン

会費 会員 1,000円 一般 1,500円

■ 9月8日(土) 18:00～21:00

第53回例会 “湘南オクトーバーフェスト”

【募集広告】

●ドイツ語とパソコンに堪能で平日午後4時間程、長期間働ける女性を探しています。

ユーロ株式会社は鎌倉由比ガ浜でドイツ家具メーカーと日本販売店間の連絡事務を女性3人でを行っています。勤務経験のある方及び海外生活経験のある方は特に歓迎いたします。ご興味のある方は午後 TEL0467-24-2040 にお電話下さい。

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 9. NO. 1. 通巻49. 発行 2007. 1. 20

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第49回例会

定例総会とミニ・コンサート

■日時 1月20日(土) 13:30～15:30

■会場 湘南アカデミアサロン

【ミニ・コンサート】

演奏 松野美智子(バイオリン) 会員

川久保純子(ピアノ) 会員

曲目 タイースの瞑想曲ほか

小品数曲

【06 定例総会】

■ビデオ上映 06ドイツフェアの記録映像

■総会次第

1. 会長挨拶
2. 経過報告と会計報告
3. 監査報告
4. 新年度の活動と予算
5. 新年度役員(名誉会員・顧問)
6. 役員代表挨拶

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ドイツ探訪旅行に行きましょう!!

5月14日(月)成田発～21日(月)成田着

詳しくはパンフレットをご覧下さい。

ジルヒャー合唱団を迎えて

会員 松野美智子

2006年11月1日、ドイツのジルヒャー男声合唱団と湘南日独協会のアムゼル合唱団との合同演奏会が藤沢市民会館で行われました。ジルヒャー合唱団がアムゼル合唱団と共演できないだろうかというメールが私のところに舞い込んだのが2005年の秋でした。メールの主は、長年、日独の音楽文化の交流に尽くしておられるウルム市在住の杉本暁史氏。早速、アムゼル合唱団にご相談したところ快諾をいただき、約1年後に合同演奏会実現の運びとなったわけです。

ジルヒャー合唱団は、今から50年程前にバーデンヴュルテンベルク州ドナウ・プッセン地方の4人の酪農家が創設した合唱団ですが、今ではドイツ国内の数々のコンクールに入賞し、高い評価を得ていることで、来日前から期待がふくらみました。

アムゼルが演奏したメンデルスゾーンやブラームスなどのドイツ歌曲、“荒城の月”などの日本歌曲は、梶井智子さんのご指導の成果が充分に感じられる味わい深いものでした。ジルヒャーは、ペーター・シュミッツ氏の指揮のもと、シューベルト、シューマンなどの曲をはじめ合唱団の名前にもなっている、“ローレライ”の作曲で有名なジルヒャーの曲も聞かせてくれました。心に深く沁み入る演奏で、人間の声の持つ力と男声合唱の素晴らしさを認識させられました。

演奏会後の懇親会には藤沢男声合唱団の方々も参加してくださり、さながら、日独の歌合戦の様相で、出席者を大いに楽しませてくれました。日独協会の方々の流暢なドイツ語でのお喋りもジルヒャーのメンバーには大きな驚きだったらしく、まるで故郷に居ようだと口々に喜びを語ってくれました。

懇親会后、別れを惜しみながらの帰途のバスの中で歌い、さらには宿舎の浴室でも歌い続けていたというジルヒャーのメンバー。素晴らしい交流の場を作ってくださったアムゼルの皆様やご協力いただいた方々に深く感謝しております。ありがとうございました。



ジルヒャー男声合唱団の熱唱(11月1日)

日独交流コンサート

会員 辻川一徳

ドイツの男声合唱団を迎えての湘南日独協会主催「日独交流コンサート」が2006年11月1日、藤沢市民会館で開かれました。はるばるドイツ南西部、ボーデン湖のほとりからやってきたのはSilcher Chor Donau-Bussen。「ローレライ」の作曲者として名高いフリートリッヒ・ジルヒャーの名前をとった40年の歴史をもつ合唱団です。指揮者ペーター・シュミッツ氏以下、団員37人とピアニストおよびフルート奏者、それに夫人数人も伴う総勢43人が藤沢を訪れました。迎える日本側は4年前に発足したばかりの湘南日独協会合唱団・アムゼルです。

コンサート前日、京都から一日バスにゆられて宿舎の江ノ島・神奈川女性センターに着いた一行は、ほんとうに飾り気のない感じのいい人たちでした。当日は好天にめぐまれ、会場の第二展示ホールには百数十人のお客さまが集まりました。ジルヒャー合唱団は旅の疲れもみせず、第1部、第2部ともそれぞれおよそ30分、計1時間にわたってモーツァルト、シューベルト、シューマン、ウェーバー、それにジルヒャーの曲を精力的に歌ってくれました。数々のコンクールで入賞したこともあるという実力はさすがで、めぐまれた体躯から出るゆたかな声のハーモニーは快く、「やはり楽器がちがう」と、うらやましく感じました。また、フレーズの終わりの子音がピタリときまる縦の揃いかたは、私たちのよいお手本になるものでした。若くチャーミ



合唱団アムゼルの皆さん(11月1日)

ングなフルート奏者、アンネ・ブルブラさんのソロもすてきでした。私たちアムゼルも梶井智子先生の指揮のもと、第1部にモーツァルトの「クローエに」などのドイツ歌曲、第2部に「荒城の月」など日本の歌をドイツ語で、およそ10分づつ精一杯歌い、ジルヒャー合唱団の人たちも「日本人がこんなにドイツの歌をきれいに歌ってくれるなんて！」と喜んでくれました。

コンサートのあとパーティーに入り、みんな大いに飲み、食べ、かつ歌って盛り上がりました。ジルヒャー合唱団一行は翌朝「ほんとに楽しく、日本の人たちは親切だった。ありがとう。ありがとう。」と繰り返しながら江ノ島を発っていきました。この企画の実現にあたってはウルム在住のファゴット奏者・杉本暁史さんや、湘南日独協会の松野理事、吉田事務局長、わがアムゼルの狩野会長はじめ関係者のたいへんなご努力があったとうかがっています。おかげですばらしい日独親善のイベントをもつことができました。

楽しかった「望年会」

2006年12月9日(土)翻車魚丸で望年会が行われました。会員の方からのワインで乾杯、賑々しい食事が始まりました。美味しい料理と楽しいおしゃべりと、ビールと冷や酒と、そしてシュトレンのプレゼントを会員の方から頂いたり…。アツという間の2時間でした。幹事の方、有り難うございました。

広報委員 佐合千佳子